たけうまファンド

設定日	：2011年11月	償還日	：死ぬまで	決算日	：原則、毎月末
収益分配	：ありません	基準価額	：算出対象外	純資産総額	：非公開

※レポートのグラフ、数値等は過去のものであり将来の運用成果等を約束するものではありません。
※レポートでは公開できない数値等が多数存在するため、目盛り等一部の表示を省略させていただいております。

運用実績

※運用開始時の資産を100としたグラフとなっています。
※グラフの歯抜け期間は当ファンド運用担当者のメンタルが死んでいた期間につき運用実績の記録ありません。

＜資産構成比率＞

日本株式	59.7%
海外株式	23.9%
現金（円・$）	16.4%

※比率は対純資産総額比です。

＜純資産総額騰落の要因分析＞

日本株式	-12.5%
海外株式	0%
現金（円・$）	76.2%

※上記の要因分析は当月中の売買を考慮せず（できない）、前月末と当月末の時価総額の差を算出してます。

※上記の要因分析は、実際の純資産総額の変動を正確に説明するものではありません。各市場と当ファンドの運用状況の傾向を知るための参考地としてご覧ください。

＜分配金実績＞

設定来
0円

※永遠のゼロ。成長ないので分配なし。

＜純資産総額の騰落率＞

1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	年初来	設定来
-0.5%	-5.0%	-3.0%	14.1%	5.8%	1524.73%

※証券口座現在の資産残高基準。投資信託、iDeCo、仮想通貨、FX（外貨証拠金取引）は含まず。

株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、今後変わる可能性があります。

たけうまファンド　日本株式／海外株式

＜資産構成比率＞

資産	比率
株式	83.6%
現金	16.4%

＜国・地域別組入比率＞

国・地域名	比率
日本	59.7%
アメリカ	23.9%

＜業種別組入比率＞

業種	比率
一般消費財・サービス	35.42%
資本財・サービス	24.35%
情報技術	9.55%
金融	5.91%

＜組入上位10銘柄＞

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	ウルトラファブリックスHD 4235	日本円	日本	一般消費財・サービス	16.01%
2	オカダアイヨン 6294	日本円	日本	資本財・サービス	13.55%
3	ServiceNow, Inc NOW	米ドル	アメリカ	情報技術	9.55%
4	Tapestry, Inc. TPR	米ドル	アメリカ	一般消費財・サービス	8.46%
5	シンメンテHD 6086	日本円	日本	資本財・サービス	8.24%
6	MSCI Inc. MSCI	米ドル	アメリカ	金融	5.91%
7	ディップ 2379	日本円	日本	一般消費財・サービス	5.64%
8	シルバーライフ 9262	日本円	日本	一般消費財・サービス	5.30%
9	ベネフィット・ワン 2412	日本円	日本	資本財・サービス	2.57%
10					

＜規模別構成比率＞

時価総額	比率
1兆円以上	28.62%
5000億～1兆円未満	1.59%
1000億～5000億円未満	12.28%
1,000億円未満	57.51%

株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来にわたってなんら保証するものではありません。

運　用　実　績

今月も当ファンドは前月比でほぼ変わらずの若干のマイナスとなり、指数が好調に推移する中で非常に情けなく目も当てられない結果となってしまいました。

運用担当者の個人的資金需要の都合もあり今月は大幅な売り越しとなりました。日揮とオプテックスの全部、シルバーライフとディップ一部を順次売却しました。これだけ指数が上がる中なのでまあまあで売れるかと思ったら利食いと損切りが交錯する格好となり全く恩恵はありませんでした。景気敏感の多い指数が上がる中でこれだけ特定の銘柄に資金が集中する形での上昇はなかなか記憶になく、月末になっても売った身としては売った時とそう価格が変わってないのが救いですが、個別のこれだけ温度差というか乖離があるとは驚きを隠せません。

また決算の結果を受けてオカダアイヨンを大幅に買い増しました。今まではUFHDの一本足打法的なところがありましたが、これでバランスはよくなったのではないかと思います。米国株でもサービスナウを一部売却し円に戻しています。138円台で円転できてよかったと思ったら140円台まできているので本当にわかりません。

相場としては本決算ラッシュの12日までは当然日替わりで還元強化系が強かったんだと思いますが、決算期が明けてから指数は急に上を目指して一転して半導体株が日本はもとより米国でも株式市場を牽引する形となり、エヌビディアの決算が決定打となってさらに勢いを増していて本当にどこまで続くんでしょうか。全く恩恵がなく妬ましい限りです。景気指標も悪く米国債務上限の話題が尽きない中で、どうしてここまで買えたのか全然わからないので飛びつくこともできず悔しい思いをしています。マーケットと距離を置いてることでこれほどまで不利益があると考えてしまいますね…

今のキャッシュ比率は当ファンドとしては空前の高さとなっていますが、これは出金予定の資金となっているのでほぼフルインベストメントに近い状態です。勝てていないなら本来的には銘柄を探さないといけないんだと思いますが、資金もアイディアもなにもないため当面はこのまま自分の資金需要のタイミングを待ちながらのんびりと投資チャンスを待つことになりそうです。待つも投資。退場しなければまたチャンスはやってくるんですから。

このような状況のため来月以降も面白みのない運用状況が続く予定ですが、これからも是非当ファンドをご愛顧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来にわたってなんら保証するものではありません。